

【冬期間における水抜き方法】

県営宮野目アパート 2号棟 213号室

冬期間、水道管の凍結のおそれがある場合や長期間不在にする場合に行ってください。

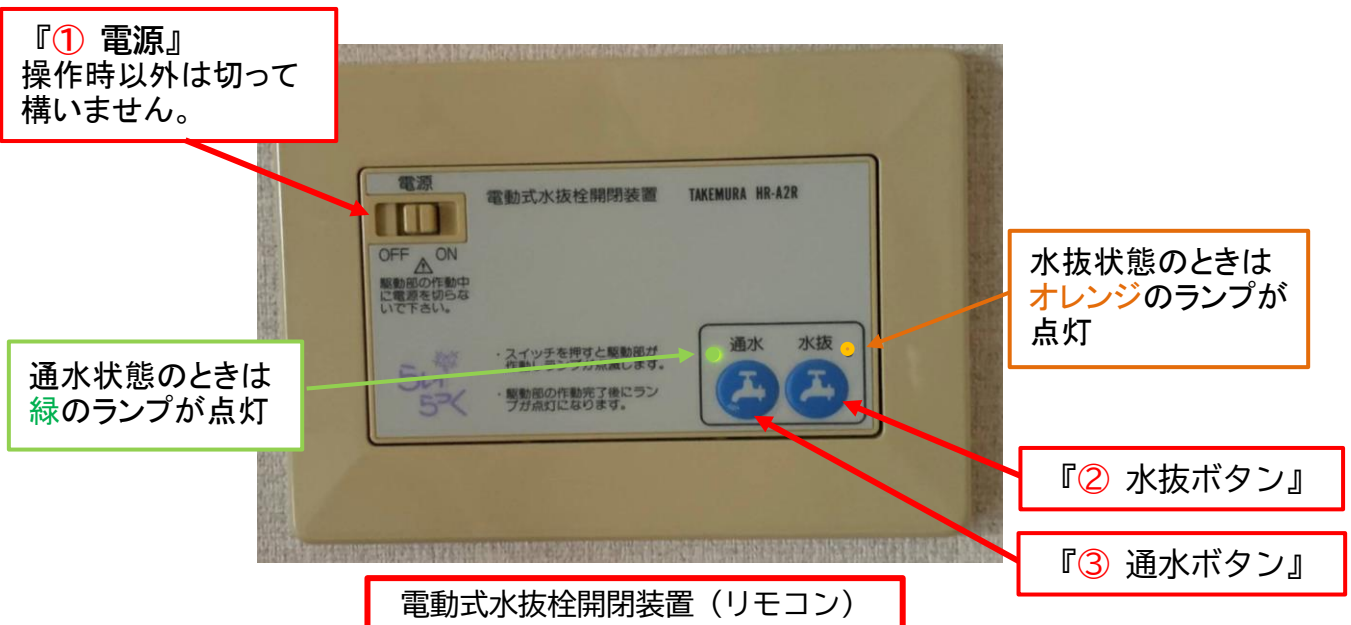
水抜き手順

1. 台所の壁にある【電動式水抜栓開閉装置】(以降リモコンと呼称します)の『① 電源』を入れてください。
「通水」の緑色ランプが点滅し、数秒後に点灯状態になります。
2. リモコンの『② 水抜ボタン』を押してください。
「水抜」のオレンジ色ランプが点滅し、数秒後に点灯状態になります。
3. 各蛇口を開き、配管内の水とお湯を抜きます。
蛇口がレバータイプの場合は、お湯側、水側両方に何度か動かして抜いてください。
ハンドルタイプの場合は、お湯と水、両方のハンドルを開いて抜いてください。
トイレは、レバーを2回程度操作しタンクを空にしてください。
洗濯機に接続の給水ホースは一度取り外して水抜きを行い、水抜完了後に再度取り付けてください。
4. 各蛇口から水滴が落ちなくなったら水抜き完了です。
水抜きが終わったら、事故防止のために全ての蛇口を閉めておくようお願いします。

通水手順

1. 全ての蛇口が閉まっていること、洗濯機の給水ホースがつながっていることを確認してください。
2. 台所の壁にある、リモコンの『① 電源』を入れてください。
「水抜」のオレンジ色ランプが点滅し、数秒後に点灯状態になります。
3. リモコンの『③ 通水ボタン』を押します。
「通水」の緑色ランプが点滅し、数秒後に点灯状態になります。
4. 各蛇口をゆっくり開いて水を出してください。
配管の中には空気が溜まっています。いきなり水やお湯を出すと水と空気が混ざり、勢いよく飛び散ることがありますのでご注意ください。

※水抜きと通水の操作時以外は、リモコンの電源を『OFF』にしておいてもかまいません。



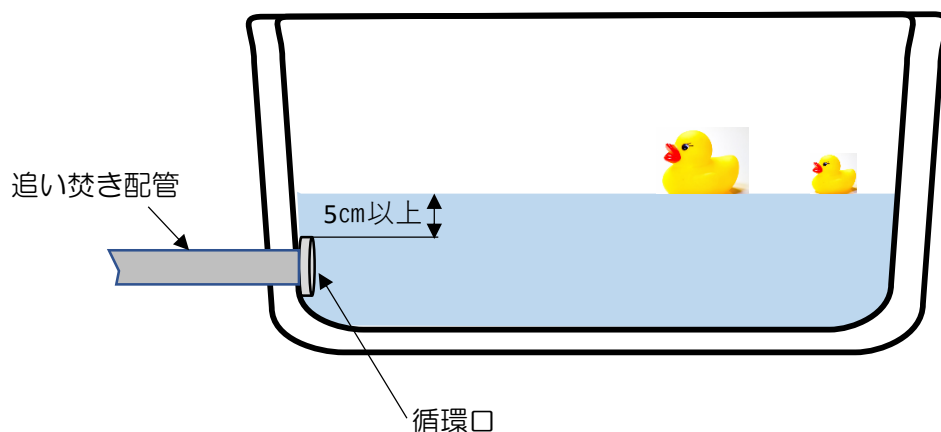
給湯器の凍結防止について

お住まいのお部屋には、給湯器が設置されております。凍結による故障は自己負担となりますので、先の水抜き操作に加え、以下のことをお守りください。

- ① 冬期間中は、長期不在の場合も、室内の契約ブレーカーを切らないでください。
また、室内分電盤の『給湯器及び凍結防止ヒーターのブレーカー』は、絶対に切らないでください。
- ② パイプシャフト（水道メーターがあるところ）に、凍結防止ヒーターがある場合は、コンセントが差し込まれているか確認し、抜けている場合は差し込んでください。
給湯器がベランダにある場合は、その周りの配管にも凍結防止ヒーターが巻いてあります。
どちらの場合も冬期間は必ず『コンセントが抜けていないか確認』をお願いします。
- ③ 給湯器のコンセントも抜かないでください。（給湯器本体のヒーターが作動するため）

※ **追い焚き機能の付いている浴槽**は、循環口より5cm以上になるように水を溜めておいてください。（残り湯で構いません）

∴給湯器が外気温を感知して、自動で追い焚き配管内の水を循環し、凍結を防止します。



追い焚き機能がない場合は、水は溜めておかないでください。

- その他詳細については、各取扱い説明書をご確認ください。
- 長期不在などにより電力の契約解除を行う場合は、事前に住宅センターにもお知らせください。